

あ と が き

本校では、「新しい時代で学び続ける児童生徒を育てる」という研究テーマを掲げ、日々実践に取り組んでまいりました。「自ら考えて工夫する」「仲間と学び合う」、この二つのことが、「生涯学習力」を高めるためには、子どもにとっても、また職員にとっても肝要であると改めて感じています。

子どもの姿から学ぶことがたくさんありました。どうしたらよいか考え取り組む姿、友達と相談する姿、新しいことに挑戦する姿、うまくいかないときにやり方を工夫する姿。それぞれの学部において、自ら考え、仲間と学び合う子どもたちの姿が見られ、2年間の研究を通して視点を明らかにすることで、子ども一人一人の変容に気付くことができました。

また、変化したのは子どもたちだけではありません。「生涯学習力」の視点から、子どもの育てたい力や授業の在り方、また地域とのつながりについて、様々に考え、話し合い、工夫しながら取り組むことで、職員はより子ども主体で授業を考えるようになりました。子どもにとって本当に必要な授業とはどのようなものなのか、教師の関わりはどうあればいいのか、職員の新たな気付きが得られたことは大きな収穫です。

先日、「良い学校には、対話の文化や対話の仕組みがある」という言葉を目にしました。教師が子どもの姿や授業について話し合い、対話を重ね、共有することは、本校で特に大切にしてきたことであり、強みでもあります。学部縦割りの「つながりミーティング」をはじめ、全校や学部のなかで、また授業者同士で語り合い、さらに校外からも御意見をいただきながら、子どもの姿を通して学び合ってきました。「自ら考えて工夫する」「仲間と学び合う」、このことの楽しさや面白さが、子どもも職員も次への学びの意欲につながっていると感じています。「子どもの思いや願い」を大切にし、そして新たな挑戦へとつなげ、一人一人が豊かに充実した生活を送ることができるよう、今後も検証を続けていきたいと思いません。

最後になりましたが、研究に御協力をいただきました多くの皆様に心より感謝を申し上げますとともに、是非御高覧いただき本校の取組に対して忌憚のない御意見、御指導をいただけますようお願いいたします。

副校長 松井智子

研 究 同 人 (令和4年度)

校長	藤井 慶博	教諭	森田 紗也子
副校長	松井 智子	教諭	佐藤 美里
教頭	宮野 俊実	教諭	信田 智華子
主幹教諭	菊地 雄平	教諭	樋渡 実由梨
教諭	伊藤 学	教諭	伊岡森 真由
教諭	小川 順子	教諭	菅原 活
教諭	鈴木 暢子	教諭	武田 茜
教諭	本多 勝成	教諭	菅原 美智
教諭	黒木 良介	教諭	田中 智佳
教諭	下村 光行	教諭	佐々木 蓮
教諭	高橋 浩樹	養護教諭	佐藤 麻衣子
教諭	後松 慎太郎	教育系スタッフ	吉田 みぎわ
教諭	山田 賢子	教育系スタッフ	星川 翔矢
教諭	斎藤 明	教育系スタッフ	武田 元春
教諭	石成 舞	教育系スタッフ	和田 芳恵
教諭	今井 彩	教育系スタッフ	嶋崎 友貴
教諭	松尾 佑美	教育系スタッフ	平塚 達也
教諭	今野 文龍		

研究協力者 (秋田大学)

武 田 篤
 谷 村 佳 則
 前 原 和 明
 鈴 木 徹

秋田大学教育文化学部教育実践研究紀要 第45号別冊
 附属特別支援学校・令和4年度研究紀要 第49集

印刷・発行 令和5年3月
 発 行 秋田大学教育文化学部附属特別支援学校
 〒010-0904 秋田市保戸野原の町7-75
 TEL 018-862-8583
 FAX 018-862-8525
 HP <http://www.sh.akita-u.ac.jp>
 Mail fuyo@sh.akita-u.ac.jp
